

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.76

今月の紹介団体 ****



2面

EKOTTOプロジェクト
栗原 まこ(くりはらまこ)さん



3面

布の絵本の会 クローバー
成島 真由美(なるしままゆみ)さん



練馬区社会福祉協議会

令和6年度(令和5年度申請・令和6年度使用)助成事業説明会

練馬区社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動募金を原資として、社会福祉事業活動に対して助成を行っています。

申請を希望される方は説明会にご参加ください(要予約)。

- 【日時】①2023年9月7日(木) 18時30分～20時 申込締切：8月30日(水)
 ②2023年9月25日(月) 10時30分～12時 申込締切：9月14日(木)
 ※両日とも説明内容は同じです。

【場所】いずれも練馬区役所(練馬区豊玉北6-12-1) 本庁舎20階交流会場

【内容】助成事業および申請方法の説明、助成団体からの活動報告等

【参加費】無料 ※1団体1名の参加をお願いします

【申込み・問い合わせ】 社会福祉法人練馬区社会福祉協議会 助成事業担当
 TEL：03-3992-5600 FAX：03-3994-1224
 E-mail：honbu@neri-shakyo.com ホームページ：https://www.neri-shakyo.com/

江古田を「子育てを楽しめるまち」にしたい!

EKOTTOプロジェクト



栗原 まこさん

子育て世代を応援するために地域の子育て情報のプラットフォームを作りたい! そんな思いから江古田エリアで活動しているのが「EKOTTOプロジェクト」です。練馬区の「地域おこしプロジェクト」に選定され、3年間、区と協働で取り組みました。代表の栗原さんを中心に、地域の保育園の先生や商店主、子育て中の方たちがメンバーとして協力しています。

2020年に活動を開始した矢



「江古田もくもく勉強会」の様子。コロナ禍でスタートし、今も子どもたちの“地域の学習場所”として大切な役割を担っています

先、コロナ禍に突入し、思い描いていた活動はできませんでしたが、コロナ禍だからこそできたこともあったと栗原さんは振り返ります。

「学校が一斉休校になった時、子どもたちの勉強の場を作ろうと『もくもく勉強会』を始めました。ボランティアの先生のおかげで今でも継続し、学校に行きづらい子どもたちの居場所になっています」

また、パパやママの気軽な交流の場として「パパママミーティング」を開催。コロナ禍で他の親子との接点が減るなか、貴重な

場となりました。子育ての悩みや保育園に関する相談が多く、メンバーである保育園の先生の存在が強みになったそう。その参加者たちと一緒に作ったのが、2023年3月に発行した「江古田子育て応援BOOK」。子連れに配慮している“子育て応援店”や



パパママミーティングの様子

地域情報をまとめた冊子です。

「江古田にはいいお店がたくさんあるのに、乳幼児がいる親は遠慮しがち。でも、実は子連れにやさしいお店は多いんです」と話す栗原さん。そういったお店を知ってもらい

たいと、協力店を取材して回りました。なかには、冊子に掲載されたことで子連れ世帯の来店が増え、乳児用の食器を用意したお店もあったとのこと。

今後は、江古田の子育て世代の「〇〇したい!」「〇〇ができればいいな」という想いをサポートしていきたいと話します。「これからもやりたいことが尽きません!」と、どこまでもエネルギーです!

今秋開催される「江古田のまちの芸術祭」や地域のイベントでは、子ども向けの企画を計画中。ご興味のある方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

■ EKOTTOプロジェクト

代表: 栗原 まこ

住所: 練馬区栄町1-11-1F
(ママコモハウス)

ホームページ:

<https://ekotto.jp>



LINE
アカウント

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

公益財団法人 大和証券財団 ※「ボランティア活動助成」と「子ども支援活動助成」の同時応募は不可

■ 「ボランティア活動助成」

【助成対象】5名以上で活動する非営利団体が行う以下の活動

1. 高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
2. 地震・豪雨などによる大規模自然災害の被災者支援活動

【助成金額】1団体あたりの上限額: 30万円

【応募期限】2023年9月15日

■ 「子ども支援活動助成」

【助成対象】20名以上で活動する非営利団体が行う以下の活動

1. 子どもの居場所づくり活動(環境改善)
2. 子どもの学習支援活動
3. 貧困家庭の子ども支援活動(貧困の連鎖の防止)
4. 育児放棄や子どもの虐待防止活動

【助成金額】1団体あたりの上限額: 50万円

【応募期限】2023年9月15日

【関連URL】<https://www.daiwa-grp.jp/dsz/grant/>

【問い合わせ】公益財団法人 大和証券財団 事務局 〒104-0031 中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル

TEL: 03-5555-4640 FAX: 03-5202-2014 E-mail: zaidan@daiwa.co.jp

手で触って感じて楽しむ「布の絵本」

布の絵本の会 クローバー



代表の成島 真由美さん(左)と、
書記の臺目(ひきめ)千明さん

練馬区内の各図書館には「布の絵本」が置かれていることをご存知でしょうか。現在、11団体が各館で布の絵本の製作を担っており、そのうち2017年から春日町図書館で活動をしているのが「布の絵本の会 クローバー」です。

布の絵本とは、フェルトや布などを使って製作した絵本のこと。ファスナーやスナップ、ボタンなどで仕掛けが施された絵本は、読むだけではなく、引っ張ったり、はめたり、外したり…と触って楽

しむことができます。

布の絵本は、もともと障害のある子どもたちのために作られたものですが、今では障害の有無にかかわらず、多くの方々に読まれているそうです。

活動日は月に2回。手芸が好きな人はもちろん、ボランティア活動をしたいという人など12名のメンバーが集まり、製作に励んでいます。製作ペースは1年に2冊。原作の本に沿って各自が担当ページを手作業で仕上げているので、最後に1冊の本になった時は大きな感動と達成感が得られるそうです。



布の絵本の製作現場。楽しそうにおしゃべりをしながら、手は止めずに作業を進めています

「原作を踏まえながら、仕掛け部分を立体的にどう表現するかを考えるのが醍醐味と言えます。年代も個性も違うメンバーたちと、アイデアを出し合いながら作業するのが本当に楽しいんです」と話すのは、代

表の成島さん。

普段の生活の中でも「これは絵本に使えるかな?」など、つい

つい布の絵本のことを考えてしまうそうです。

また、製作だけでなくとどまらず、図書館所蔵の布の絵本の修理も請け負っていま

す。当初どんな意図で仕掛けが作られたのかを推測しながら修復していくのも楽しみのひとつなのだとか。

「多くの方に布の絵本を知ってほしいです」と話すのは、書記を務める臺目さん。今後の目標は、自分たちで考えたオリジナルストーリーの布の絵本を作ることだそうです。

春日町図書館にある布の絵本は、メンバーたちの工夫が詰まった作品が中心。図書館で1人2点まで借りることができるので、ぜひ一度手に取って、布の絵本の楽しさを体験してみてください!

■布の絵本の会 クローバー

代表：成島 真由美

TEL：03-5241-1311

(春日町図書館)

■公益財団法人 住友生命健康財団

「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」

【助成対象】スポーツを楽しむ文化が地域に根付き、社会の新しい価値を創り出す以下の取り組み

- ・ 地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ
- ・ 心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ

【助成金額】1団体あたりの上限額：チャレンジコース 50万円
アドバンスコース 300万円

【応募期限】2023年9月21日

【関連URL】<https://yumeplan.prjf.or.jp/how.html>

【問い合わせ】公益財団法人 住友生命健康財団 事務局

TEL：03-5925-8660 FAX：03-3352-2021

E-mail：sports@am.sumitomolife.co.jp

■公益財団法人 正力厚生会「がん患者団体助成」

【助成対象】国内で活動するがん患者会、がん患者やその家族を支援するグループ(医療機関内の患者会等を含む)などが行う、相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、インターネットによる情報発信などの企画運営

【助成金額】1団体あたりの上限額：50万円

【応募期限】2023年10月17日

【関連URL】<https://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

【問い合わせ】公益財団法人 正力厚生会 事務局

〒100-8055 千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル29階

TEL：03-3216-7122 FAX：03-3216-8676

E-mail：skouseikai@yomiuri.com

令和5年度地域活動パネル展 開催日程

練馬区には、「自分たちの住む地域をより良くしよう」と活動する町会・自治会、NPO、ボランティア団体がたくさんあります。令和5年度は区内8か所の会場で、地域活動団体を紹介するパネル展を開催します。ぜひお近くの会場に足を運んでみてください。



令和4年度のパネル展の様子



会場	開催期間
大泉図書館	令和5年9月5日～10月1日
光が丘図書館	令和5年10月31日～11月26日
北町地区区民館	令和5年11月28日～12月4日 (9時～17時)
春日町図書館	令和5年12月14日～12月26日
石神井図書館	令和5年12月26日～令和6年 1月21日
小竹図書館	令和6年1月16日～1月21日
関町図書館	令和6年2月2日～2月5日 午前
貫井図書館	令和6年2月6日～3月10日

※休館日や営業時間は各施設のHPでご確認ください。

受講生を募集します

伝わる！響く！ チラシ・コンテンツ作成講座入門

地域活動につながる、スキルアップを目的とした講座を開催しています。地域活動を行いたい方等を対象に、『伝わるチラシ・コンテンツの作り方のコツ』をお伝えします！

【日時】9月20日(水) 10時～12時

【内容】魅力的なデザインや、効果的な言葉選びなどチラシ・コンテンツ作成の基本を楽しくわかりやすく解説します。

【場所】ココネリ3階 研修室2

【講師】山本 和泉(ウェブデザイナー)

【定員】30名(先着順)

【申込み】①講座名 ②氏名 ③電話 ④住所 ⑤メールアドレスを、9月14日(木)までにポータルサイト(<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ



【問い合わせ】地域文化部協働推進課カレッジ担当係

TEL: 03-5984-1613 メールアドレス: KYODOSUISHIN04@city.nerima.tokyo.jp

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬1-17-1ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL:03-3577-5666